

「第2次尾鷲市スポーツ推進計画（案）」に係るパブリックコメントの実施結果について

- 1 意見募集期間 令和8年1月19日（月）～令和8年1月30日（金）
- 2 意見提出数 2名（意見数2件）
- 3 意見の内容と本市教育委員会の考え方

No.	意見内容	本市教育委員会の考え方
1	<p>本計画は、生涯スポーツの推進や地域スポーツ環境の充実について幅広く整理されており、尾鷲市の将来を見据えた重要な計画であると感じました。</p> <p>一方で、現在全国的に進められている「中学校部活動の地域展開（地域連携）」についての記述が見られないので、ぜひそのことについても記述していただきたいと思いました。部活動の地域展開は、単に教員の働き方改革への対応として捉えられがちですが、本来はこの地域の子どものためのスポーツ機会を将来にわたって確保し、より専門性のある指導者のもとで安心してスポーツに親しむことができる環境を整えることを主眼とすべき課題であり、スポーツ推進計画と極めて親和性の高いテーマであると考えます。</p> <p>尾鷲市には中学校が2校しかなく、人口規模や競技環境にも限りがあります。このような地域特性を踏まえると、学校単位で完結する体制には限界があり、将来的には近隣自治体との連携も視野に入れながら、地域が主体となってスポーツ環境を整備していくことが不可欠ではないでしょうか。特に、本計画が10年間を見据えたものであるからこそ、市内にとどまらない広域的な連携の可能性について、あらかじめ方向性を示しておくことが重要だと考えます。</p> <p>具体的な実施時期や方法を断定的に示す必要はないと思いますが、「中学校部活動の地域展開を含め、地域主体を基本とし、学校や近隣自治体と連携しながら、ジュニア期のスポーツ環境づくりについて検討・推進していく」といった考え方を、本計画の中に位置づけていただくことを要望します。</p> <p>本計画にそのような視点が加わることで、尾鷲市におけるスポーツ推進が、子どもたちを中心に据えた、より持続可能で実効性の高いものになると期待しています。</p>	<p>中学校における部活動の維持および休日の部活動の地域展開に関しましては、本計画の中間案においても、「第1章 現状と課題【1】スポーツを取り巻く社会環境」（P5）として全国的な課題として取り上げ、「同章【2】尾鷲市の現状と課題 ④学校の体育・スポーツの状況」（P10）でも、尾鷲市における今後の課題として取り上げているなど、重要な課題として捉えております。</p> <p>また、地域展開を進めていく方法として、「基本目標②スポーツの競技力向上」（P25,26）の中で、今後「複数校や行政区を超えたチーム編成の構築」、持続的な部活動を維持するために「広域的な東紀州地域の行政、学校、スポーツ団体、保護者、住民等」との連携について記載しておりますが、よりこの点を明確化するため、ご意見としていただきました「地域主体を基本」とする旨の記載を追記させていただきますと思います。</p> <p>ご意見にもございますように、学校部活動の地域展開は、中学生のスポーツを推進していく上で重要な課題であり子どもたちのスポーツ機会の受け皿となる体制の構築を進めてまいりたいと考えておりますが、制度としての学校部活動の地域展開においては「学校におけるクラブ活動の教育的意義をいかに担保するか」という点において、現時点では指導者認可制度のあり方について調整が図られているところであり、今後も国における制度設計等の動向を注視する必要があります。引き続き、学校・教育委員会・地域におけるスポーツ関係団体や指導者等との協議を重ねながら、持続可能で実効性のある地域展開を目指してまいります。</p>
2	<p>このエリアで開催されたトレイルラン、シーカヤック、オープンウォータースイミングなどを通じて この東紀州エリアを知り、この地域の自然に魅了され、定年して現在移住し、現在尾鷲市内に住まわせてもらっています。</p> <p>家探し、仕事探しをする中で、これらの催しが全て熊野市の運営だという事を知りました。その他、温泉、宿、食に関する特産品の開発まで、とても上手い取り組みだと感じています。尾鷲市には発電所が無くなり、高速も繋がって熊野まで素通りする車が増えただろうと思いますが、残念ながらここを目的地とするイベント、スポーツの大会などがありません。昨年－昨年は 県の開催する 熊野川カヤック川下りに参加し、昨年は新たに紀北－尾鷲のロードバイクの大会、便石山への軽登山もありました。</p> <p>県の主催者の方々と話す機会が多く、今後ほかにもいろいろと考えて開催をしてくれる、とのことで楽しみにしています。尾鷲市には正直あまり期待はしていません。発電所跡をこういう観光資源に使ってもらえたらと思ってましたが、球場では他への流用が難しいように感じます。せめて広大な公園などが在ればマラソンや野外イベントも出来そうですが、今のところ古道センターしか場所が無いように思います。まずは小規模でも市民参加型の マラソンくらいを開催して欲しいです。松阪市も最初は10kmの小さい地元マラソン大会でしたが、その後ハーフになり、今はフルマラソンとして定着しています。尾鷲は海も山も在り、コンパクトシティなので1周約7-8km、少し迂回すれば10kmほどです。三木里あたりまで利用すれば、結構な距離もとれ、さらに紀北と協力すればいくらでも距離は可能です。せっかくのロケーションと今後の広がりを考え、何か根付くスポーツ大会、イベントを企画して欲しいと思っています。</p>	<p>本市におけるスポーツ大会の実施について、ご意見、ご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>現在、尾鷲市では、毎年実施されるスポーツに大会として、三木里海岸で行われる日本水泳連盟認定のサーキットシリーズである「オープンウォータースイミング三重オープン尾鷲」や、熊野古道センターを主会場として行われる、世界遺産熊野古道を活用した日本ウォーキング協会公認コースである「おわせ海・山ツデーウォーク」等が開催されております。</p> <p>また、発電所跡地の公園整備につきましては、野球場が整備された後もスポーツが楽しめる総合公園として周辺整備が進められる予定であり、サッカー場が2面確保できる広さの敷地が確保されております。</p> <p>新たに整備されるスポーツ公園では、野球場の活用も含めて、スポーツを通じた市民の憩いと集客交流につながる運営を目指し、スポーツ大会やスポーツイベントの誘致や実施を実現してまいりたいと考えております。</p> <p>現在ではスポーツの概念も、競技スポーツやニュースポーツ、アクティビティやレクリエーション、ダンスや健康体操など、幅広く捉えられることとなったことから、多様な活用を図ってまいります。</p> <p>なお、今回の計画策定に際して行ったアンケート調査結果におきまして、現在、市民が求めていることは「気軽に参加できるスポーツ」であったことから、まずはスポーツ教室や体験会の充実することでスポーツ推進を図ってまいりたいと考えております。</p>